

公益社団法人能楽協会九州支部 普及公演

クリスマス

2025



能

福岡のクリスマスは
能楽堂で

能 観世流

清経



狂言

和泉流

名取川



舞囃子 金春流

融

仕舞 喜多流

笠之段

観世流

女郎花

宝生流

三輪

狂言小舞

大蔵流

海道下り

自由席

一般 3,500 円 当日 4,000 円

学生 2,000 円 当日学生証の提示が必要です

※未就学児は入場できません

チケット

大濠公園能楽堂 092-715-2155

チケットぴあ Pコード: 537-334

ローソンチケット Lコード: 82474

12.21 2025 日

13:00 開演 12:00 開場

大濠公園能楽堂

無料
事前講座

12/5 金

18:30

大濠公園能楽堂楽屋

どなたでもご参加いただけます

主催：公益社団法人能楽協会 九州支部 後援：福岡県／福岡市

【お問い合わせ】大濠公園能楽堂 092-715-2155



解説

舞囃子

金春流

融

名和 長承

笛 相原 一彦
小鼓 幸 正佳
大鼓 原岡 一之
太鼓 吉谷 潔
地謡 櫻間 右陣
東 軍三
田中 秀実

六条河原院に現れた源融の幽霊。光源氏のモデルともいわれる融は陸奥の塩竈を模した庭を舞台に往時の茶華を語り、やかて月の光が消えゆくと共に静かに消えてゆきます。

狂言

和泉流

名取川

なとりがわ

僧 野村 万禄
宮取の何某 吉良 博靖

地謡 吉住 講
上杉 啓太
杉山 俊広
後見 雪野 洸太

比叡山で授戒した僧が帰国途中に寺へ立寄り、名前を付けてもらいます。しかし物覚えが悪いため、替えの名前ももらい、さらに袖に書き付けます。やかて川にさしかかり、渡ることに。天然キャラの僧が笑いを誘います。



仕舞

喜多流

笠之段

かさのだん

狩野 了一

地謡 栗谷 充雄
大島 衣恵
渡辺 康喜
工藤 義彦

能「芦刈」の名場面です。武士の身分を捨てた目下左衛門は都を離れ、芦を刈つて暮らしています。「笠之段」は笠づくしの謡を面白く謡い舞う妻との再会へとつながる重要な段です。

観世流

女郎花

おみなめし

多久島法子

地謡 今村 宮子
菊本 澄代
木月 晶子

都男山に咲き乱れる女郎花。この花には「花の夫婦」といわれた小野頼風夫婦の悲しい物語がありました。死後も妾執に苦しむ夫婦は、僧に回向を頼みます。

宝生流

三輪

みわ

山岡 晴美

地謡 東川 光夫
杉岡 敏英
福田 清道

奈良・三輪山を舞台に、古き神話の世界を描きます。仕舞は三輪明神（大物主神）と玉依姫の神婚の場面です。毎夜通つてくる男の正体を突き止めようと、糸巻きの糸を針に通し、男の衣に綴じておくこと。

狂言小舞

大蔵流

海道下り

かいどうくだり

河原 康生

地謡 中島 清幸
秋吉 英二
洪田 昭典
宮本 雄二

都から東山道を不破の関に到るまでの道中を詠みこんだ作品です。元は放下の謡い物であつたといわれ、江戸時代には歌舞伎にも伝承されました。

休憩

能

観世流

清経

きよつね



平清経の霊 今村 一夫
清経の妻 菊本 美貴
栗津三郎 御厨 誠吾

地謡 森田 光次
小鼓 飯富 章宏
大鼓 白坂 信行
後見 多久島利之
多久島法子

西国へと落ちた平家一門九州筑紫で再起をはかる中、平清経は豊前柳ヶ浦船より入水、命を絶ちます。清経の家臣、栗津三郎は、清経の遺髪を妻に届けます。清経の妻は夫の死を聞き、自分を残し自ら命を絶したことを恨みます。そして届けられた形見の遺髪を見れば悲しみが増す。その夜、妻の夢の中に清経の霊が現れます。再会を喜びながらも、自ら命を絶したことを妻が責め返したことを夫は責める。すれ違つたいと想い、やかて清経は、静かに語り始めます。修羅物でありながら、夫婦の恋慕に焦点を置いた物語で「恋の修羅」といわれます。

終演午後4時20分予定

◎写真、動画撮影・録音は固くお断り致します
◎スマートフォン・携帯電話の電源はお切り下さい

●公益社団法人能楽協会九州支部は平成11年に設立されました。シテ方5流儀、ワキ方1流、囃子方7流、狂言方2流、約65名の能楽師が所属しております。
普及公演「クリスマス能」は、入場料を比較的安価に設定し、初めてご覧になる方にもわかりやすく観ていただけるように能楽師による解説もごさいます。

公益社団法人能楽協会九州支部

福岡市中央区大濠公園1-5 大濠公園能楽堂内

●地下鉄大濠公園・唐人町下車 徒歩5分
●西鉄バス黒門・大濠公園下車 徒歩5分

